学校番号	３２７

令和８年度　芸術科（国際文化科）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術Ⅰ　（日文）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン・工芸」、作品の意図、表現の工夫や効果を考える「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
制作活動を通じて準備、段取り、状況判断などの大切さを学び、それらの活動が普段の生活にも生かせるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に制作活動に取り組み、日常生活をより良いものにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な知識・技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	色彩構成	【デザイン】 ・春夏秋冬をテーマにした色彩構成	a:混色する方法や色の成り立ち・着彩方法を学習する。 b:混色の度合いを調整し、イメージ通りの表現ができるよう学習する。 c:作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	適切に着彩で来ていること。	絵の具の特性を理解し、コントロールできること。	制作の様子
	レリーフ	【デザイン】 ・ペーパーレリーフ	a:作品制作に対して慎重かつ計画的に実行することができるか。 b:連続する模様の展開を理解できるか c: 作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	丁寧な作品作りに徹していること。	多くの試行を繰り返し、作品作りにおいて新たな発見があること。	制作の様子
2学期	空間把握	【デザイン】 ・2点透視図法を利用しただまし絵	a:2点透視図法を理解し、立体的な把握ができるようになるとともに、技法や道具を適切に使いこなせるように学習する。 b:だまし絵の効果を有効に演出するために、画面の構成が的確に行えるよう学習する。 c: 作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	マスキングテープなど新たな道具を効果的に活用し、適切な着彩ができていること。	ポイントとなるだまし絵を効果的に表現できていること。	制作の様子
3学期	作品制作	【絵画】 ・明暗分割による貼り絵	a:効果的な分割の方法を学習し、作品に深みを持たせることを学習する。 b:効果的な色の選択を行い、最小限（2色）の色数で立体感ある作品を制作できるよう学習する c: 作品制作に対して真摯に取り組む態度を養う。	貼り絵の作業が適切かつ効果的でありこと。また、分割の方法が適切であること。	色の選択や明暗分割の方法が適切かつ効果的に行えているか	制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度